

エイト日本技術開発が6日に開いた創立70周年記念セレモニーには、全国7拠点から社員や関係者ら約1400人が参加した。金声漢社長が若手社員とパネルディスカッションを行い、「会社のことを自分ごととして考えるのとはとても気持ちのいいこと。積極的に提案してほしい」と呼び掛けた。「顧客から求められていい仕事をして、みんな豊かになり『日本で一番いい会社になる』ように頑張る」と決意表明。持続可能な社会の実現に向け、技術と知見を生かして貢献していく方針を示した。

エイト日技、1400人が70周年の節目祝う

式典は岡山会場と東京本社のほか、▽東北▽中部▽関西▽四国▽九州の各支社をオンラインでつなぎ同時中継した。

約400人が参加した岡山プラザホテル（岡山市）の岡

「日本で一番いい会社」



小谷会長

「私たちが手掛けたプロジェクトが、未来の持続可能な社会への貢献につながる」と信じていると述べ、「これからの地域社会や世界と共に歩む企業であるため、技術と知見を結集し、持続可能性への貢献の輪を」

「私たちが手掛けたプロジェクトが、未来の持続可能な社会への貢献につながる」と信じていると述べ、「これからの地域社会や世界と共に歩む企業であるため、技術と知見を結集し、持続可能性への貢献の輪を」

山会場での式典の冒頭、小谷裕司代表取締役会長は「『価値ある環境を未来へつなぐ』との理念の下、国内隅々の貢献はもとより、世界へ事業を拡大してきた」と創立以来の歴史を振り返り、「建設コンサルタントは社会基盤の整備を支える重要な役割を果たしている」と強調した。

「プロジェクト責任者にし、プロジェクト責任者になることは、何者かになるためのファーストステップ。決してもらうためのボールを投げた」と積極的な挑戦に期待を寄せた。

山口支店の芦田悠輔さんは、金社長が各拠点で意見交換を行っていることに触れ、風通しがいい環境になってい

金社長が若手とパネルディスカッションも

るかを尋ねた。「まだなっていないが、社員から多くの気付きをもらっている」と金社長。「誰に言ってもいいかわからない」をなくし「身近な人に相談すれば解決する環境を整えたい」とした。

続いて祝賀パーティーを開き、親会社のE・Jホールディングスの二宮幸一社外取締役が乾杯の首領を取って歓談に移った。



パネルディスカッション